

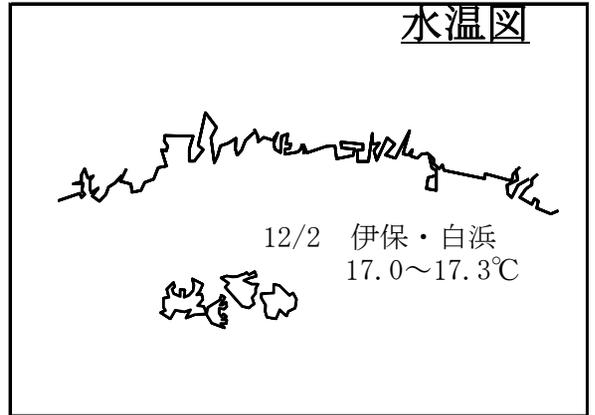
兵庫県のみ漁場環境情報 (西播海域 6号)

2024年12月 2日発行
 兵庫のみ研究所

海域全般に、大型珪藻コシノディスカスは確認されますが、発生量は少ない状況です。西播地先では、小型珪藻のタラシオシラ等は確認されていますが、発生量は減少傾向にあります。窒素は、赤穂～網干漁場で2～3 $\mu\text{g at/L}$ 台、伊保・白浜漁場で1 $\mu\text{g at/L}$ 台、沖合漁場で概ね3 $\mu\text{g at/L}$ 台の値となっています。

(珪藻)

海域全般に、大型珪藻コシノディスカスの発生量は、前回(11/22)調査と同様に少ない。各海域のコシノディスカス発生量は海水1Lあたり、西播地先で60～200細胞(前回値:30～160細胞)、沖合漁場で10～60細胞(前回値:20～120細胞)であった。西播地先では、小型珪藻のタラシオシラ、キートセロス等は確認されるが、発生量は減少傾向にある。伊保・白浜漁場では、塊状の群体を形成するタラシオシラ・ディポロキクラスが確認された。



		前回値	今回値	平年値	昨年値
西播地先	窒素	0.7	2.2	4.8	2.4
	リン	0.35	0.51	0.60	0.72
家島・坊勢	窒素	3.0	3.4	4.7	1.6
	リン	0.60	0.67	0.67	0.62

(11/22) (12/4)

栄養塩 (窒素) 図

2024年12月 2日調査

